東北学院大学アジア流域文化研究所公開シンポジウム

東アジアにおける共同労働慣行

―イメージの問い直しと新たな研究課題を考える―

2018年2月13日(火)

会場　東北学院大学土樋キャンパス　ホーイ記念館ホール(地下1階)
開場 13:00～　講演 13:30～17:30







プログラム

13：30 ～ 15:00

遠藤　健悟（東北学院大学アジア文化史専攻博士後期課程３年）
宮城県大崎耕土のユイとテマドリ
－大崎市三本木新沼の事例より－

真柄　侑（東北学院大学アジア文化史専攻博士前期課程２年）
奄美沖永良部島のイータバと刈り取り班
－和泊町内城の事例から－

15：00 ～ 15：10　休憩

15：10 ～ 16：30

阿利　よし乃（沖縄国際大学非常勤講師）
沖縄県波照間島の共同労働
－サトウキビ収穫の事例－

岡田　浩樹（神戸大学大学院国際文化学研究科教授）
朝鮮半島の共同労働と「仲間」
―ツレ・プマシ・契と父系親族関係―

16：30 ～ 16：45　休憩

16：45 ～ 17：30

パネリストによるディスカッション
（コーディネーター：政岡伸洋）

■主催　東北学院大学アジア流域文化研究所
■備考　入場無料・申込不要
■問い合わせ先　東北学院大学アジア流域文化研究所　〒980-8511 宮城県仙台市青葉区土樋 1-3-1
TEL･FAX：022-264-6370　E-mail：ryuiki@mail.tohoku-gakuin.ac.jp
Web：http://www.ipc.tohoku-gakuin.ac.jp/~hicarb/